

## セゾン文化財団森下スタジオ使用要項

### [総則]

第1条 本要項は、セゾン文化財団森下スタジオ〔東京都江東区森下3丁目5番6号〕（以下スタジオという）の使用における、使用者の順守事項を定めるものである。

### [使用時間]

第2条 スタジオの使用時間（入退館）は、午前10時から午後10時までとする。  
（準備・撤去清掃も含めて上記時間。午後10時完全退出。時間外の使用が目立つ場合は、スタジオ使用を中止させる場合がある）

2. スタジオの使用責任者は、管理者の求めに応じ、スタジオ使用スケジュールを提出しなければならない。また、スケジュールの変更が生じた場合は、直ちに管理者に報告しなければならない。

### [休館日]

第3条 スタジオの休館日は、春季・秋季のメンテナンス期間、および年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）とする。ただし、建物及び施設・設備等の保守整備等のために、臨時に休館することがある。

### [スタジオの使用・入退館]

第4条 スタジオの使用に際しては、使用責任者またはその代理が受付にて、使用スタジオの鍵を受領の上、鍵管理簿への鍵受領確認の署名を必要とする。

（使用初日は、現場責任者が入館時にスタジオ備品の確認と使用に際しての説明を受けること）

2. 1日のスタジオ使用終了後、使用責任者またはその代理は使用スタジオの鍵を受付に返却しなければならない。この時、鍵返却の確認のため、鍵管理簿に署名を必要とする。
3. スタジオの鍵を紛失した場合は、スタジオの使用者がその賠償の責を負う。
4. ダンス用リノリウムを使用の場合、敷き込み作業とそれに伴うテーピング・及び撤去作業は、使用者自身が行うこと。また、テーピングの修繕についても使用者自身で行うものとする。前の使用者が敷き込んだリノリウムを引き続き使用する場合は、テーピングの不具合による怪我等ないよう十分注意すること。尚、リノリウムの使用は有料とする。
5. 全館禁煙とする。喫煙は、屋外の指定の場所で行うこと。
6. 新館ラウンジの使用時間は、午前10時から午後10時までとする。ラウンジは共有部分であるため、管理者の許可なく、占有して使用してはならない。また、ラウンジのキッチンを使用する場合は、必ず事前に管理者に届け出をし、使用方法を確認しなければならない。
7. Cスタジオのキャットウォーク等高所にて作業を行う場合、必要に応じて安全帯やヘルメットを着用するなど、安全管理に十分注意すること。

[駐車場の使用]

第5条 駐車場を使用する場合は、事前に届け出を必要とし、許可された所定の位置に駐車しなければならない。  
(駐車スペースが限られているので、各スタジオに割り当てられた台数及び駐車場を使用すること。また、夜間に留置きする場合は事前に受付に申し出、「夜間駐車票」を受け取ること)

2. 駐車場の使用時の事故・盗難その他については、スタジオの使用者がその責を負う。
3. 近隣の迷惑となるような、自動車等の使用行為（アイドリング、空ぶかし等）は禁ずる。

[禁止事項]

第6条 使用対象事業以外の目的でスタジオを使用することを禁ずる。

2. スタジオの全部または一部を転貸、譲渡または担保に供することを禁ずる。
3. スタジオの使用者は、消防法に定める危険物ならびに火気等を館内に持ち込むことはできない。また、湯茶等の用に供する場合を除き、指定場所以外での煮炊きはできない。
4. スタジオの使用者はスタジオにおいて、施設・設備・備品への通常の使用による損耗を超える損傷を与える行為は、行うことはできない。  
(壁面や扉等への貼り紙・釘打ち等は、禁ずる。床は弱粘の養生テープを使用し、ガムテープは使用しないこと。また、機材の搬入・搬出時には、床や壁面等を傷つけないように注意すること。音響・照明・映像機器等の精密機器についても、取扱いに十分注意して使用すること)
5. スタジオの使用者は、スタジオにおいて許可なく興行行為を行うことはできない。
6. スタジオの使用者は、ホール等の共用部分において、許可なく展示行為・物品の設置および陳列ならびに放置を行うことはできない。また、館内において営利を目的とする物品販売等の金銭授受を行うことはできない。
7. スタジオ内は土足厳禁。（スリッパの用意はあるが、必要に応じて各自上履きを用意すること）

[近隣や他使用者への配慮]

第7条 近隣が住宅地であること、他スタジオにも使用者がいることを考慮し、外に音漏れがないよう気をつけること。管理者はスタジオ使用者に対し、近隣からの苦情がありうると判断した場合は、使用の制限あるいは中止を求めることがある。

2. ロビーや給湯室等の共有部分では、他使用者に配慮して使用すること。

[届け出]

第8条 スタジオの利用者が稽古等に必要な設備・機器等の資材を館内に搬入する時は、事前に管理者の了承を得なければならない。スタジオの利用者が設備・機器等の資材を館外に搬出する時も同様とする。尚、設備・機材等の資材の搬出入に際し、道路使用許可が必要な場合は、当該スタジオ利用者が置く責任者が行うものとする。

(通常、使用初日の1ヶ月前までに「スタジオ連絡表」を提出し、その際に必要な事柄を申請すること)

2. スタジオの利用者は、やむを得ず館内において動物の飼育を必要とする場合は、管理者に届け出の上、許可を受けなければならない。この場合、他の利用者・近隣等への迷惑が予測される時は許可されない。
3. スタジオの利用者は、取材等で部外者の館内立ち入りを必要とする場合は、事前に管理者に届け出なければならない。又、当該スタジオの利用者は、その部外者に対して本要項を順守させなければならない。
4. スタジオの利用者は、ワークショップ・デモンストレーション・シンポジウム等、部外者の入館を想定した使用をする場合、必ず事前に管理者に届け出をし、開催方法を確認しなければならない。又、前記3項と同様に、一般客等の部外者に対して本要項を順守させなければならない。

[片付けの義務]

第9条 スタジオの利用者は、一日の使用時間の終了前に、スタジオ及びスタッフルーム・給湯室を整理整頓しなければならない。また、火気のおそれのあるものは、細心の注意をもって処理しておかなければならない。

2. スタジオ等で発生したゴミは、不燃ゴミ、可燃ゴミ、リサイクルゴミ(缶・ビン・ペットボトル)、危険物ゴミ(釘・ガラス等)に分別し、管理者の指定する所定の場所にまとめておかなければならない。又、粗大ゴミ・電球・電池等については、スタジオの利用者が処分するものとする。

(ゴミ有料化については、第11条参照)

3. スタジオの利用者は、一日の使用時間の終了時には、火気の点検を行い、各種の電源を切り、施錠しなければならない。(退館時は、安全点検表に基づいてスタジオの点検を毎日実施すること。必ず責任者において確認をし、安全点検表を鍵と一緒に受付に返却すること。プラグは全てコンセントから抜くこと)

[スタジオからの撤収]

第10条 スタジオの利用者は、館内に搬入した設備・機器等の資材について、許可されたスタジオの使用期間内に搬出しなければならない。この場合の手続きは第8条の第1項と同様とする。

2. スタジオの利用者は、使用期限満了に伴う撤収に先立ち、使用スタジオの原状復帰をしなければならない。

[実費徴収]

第 11 条 管理者はそれぞれのスタジオの利用者に対し、使用期間中に使用されたスタジオ維持費・通信使用料（FAX の受発信）・コピー等については実費を請求するものとする。又、事業所のゴミ有料化に伴い、通常の範囲を超えたゴミについても実費請求するものとする。  
（スタジオ内ゴミ箱に収まらない場合、ゴミ袋は 45L サイズのものを用意すること）

2. 第 1 項の通信使用料の実費は専用計量器の計測によるものとする。

[コピー・FAX の使用方法]

コピー／FAX 複合機は本館ロビーに設置あり。（スタジオ FAX 番号：03-5624-5950）

コピー及び FAX 送信：使用時に受付に申し出て、複合機の IC カードを受け取ること。

FAX 受信：受信時に受付に申し出ること

[罰則および賠償]

第 12 条 本要項の各条項に違反したスタジオの利用者に対して管理者は、スタジオ使用期間の短縮ならびに賠償を求めることができる。

2. 資材等の搬出入時を含むスタジオ使用中に発生した人的・物的損害は、当該スタジオの利用者がその賠償責任を負う。

[保守管理]

第 13 条 管理者は、保守管理上の必要があるとき、スタジオ内に入り適宜の措置を講ずることがある。

[不可抗力の場合の措置]

第 14 条 天災地変、交通機関のトラブル等、使用の継続が困難と判断される場合、管理者はスタジオを閉館し、スタジオ利用者に退館を求めることができる。

2. 地震や台風、火災等の災害発生時、あるいは不審者による侵入等の緊急時には、事態の収束に向けて、管理者は使用者に協力・応援を依頼することがある。

3. 尚、上記事由や不測の事故等の不可抗力により生じた損害について、スタジオはその責を負わないものとする。

[雑則]

第 15 条 本要項は 1994 年 4 月 1 日から適用する

2021 年 10 月 改訂

## <入館時>

スタジオ使用責任者は、スタジオ使用者全員に、スタジオ内入口横に貼ってある「森下スタジオ見取り図」を見て、以下のことを確認するように、指導して下さい。

1. 避難経路。
2. 消火器の位置。  
(消火器の位置は、みだりに移動しないようにお願いします。)
3. 排煙装置の位置。  
(使用法は操作盤に明示してありますので、各自確認して下さい。)

また、震災時の避難場所は下記のとおり。地図は本紙裏面にありますので、確認しておいて下さい。

一時避難場所・・・森下公園（森下2丁目）  
広域避難場所・・・木場公園（平野4丁目）

## <日常の注意事項>

スタジオ使用責任者は、以下の事項をスタジオ使用者に確認し、守るよう指導して下さい。

1. 消防法に定める危険物や火気の使用の禁止。
2. 湯茶の使用を除く、館内での煮炊きの禁止。
3. 全館禁煙（喫煙は屋外の所定の場所にて行うこと）。
4. 通路や階段、扉の前等に物品を置かない。

## <火災発生時>

万一火災が発生した場合は、消防署およびフロントに連絡し、すみやかに初期消火及び避難をおこなって下さい。スタジオ使用責任者は、全員に確認しておいて下さい。

森下スタジオの住所は、下記のとおり。通報時にはこれを見て、落ち着いて通報して下さい。

**江東区森下3-5-6 森下スタジオ**（代表電話 03-5624-5951）

## <地震発生時>

万一地震が発生した場合は、落ち着いて行動して下さい。別紙「スタジオ、ゲストルーム用\_地震が発生した時」を事前にご一読下さい。スタジオ・スタッフルーム内、ゲストルーム内にもご用意しています。

### 一時避難場所

#### 森下公園

スタジオから徒歩3分  
スタジオを出て左です。



### 広域避難場所

#### 木場公園

(平野 4 丁目)

スタジオから徒歩 25 分  
高橋商店街（のらくろ  
ード）を左折し、三ツ目  
通りを右折。  
東京都現代美術館のある  
公園です。



# 公益財団法人セゾン文化財団

## 森下スタジオ

すたじお げすとるーむ つか

スタジオ および ゲストルーム を使っている みなさまへ

じしん はっせい お つ いか

地震が発生したときは、落ち着いて以下のことをおこなってください：

すたじお げすとるーむ どあ まど あ に みち かくほ

1. スタジオ または ゲストルームの ドアや 窓を 開けて、逃げ道を 確保して  
ください。

あたま まも てーぶる ですく した はい

2. 頭を守るように テーブルや デスクの 下に入ってください。

※ 立てない くらいに 揺れが 激しいときは、上に 書いてある 1 と 2 の  
じゆんばん ぎゃく あたま まも

順番を 逆に して、まず 頭を守ってください。

じしん あと そと で かじ けむり かべ

3. 地震の すぐ後に 外に出ないで ください。ただし、火事、煙、または 壁  
おおきな ひび などがある、安全な ところに 逃げて ください。

ちじょう たてもの かい こうずい かわ うみ みず

4. 地上（建物の 1階）に 洪水（川や海の水）が やってきた ときは、すぐに

たてもの うえ かい いどう

建物の 上の 階に 移動して ください。

5. 揺れが おさまった あとに 移動するときは、次の ものが あれば、お持ち  
ください：

■ 靴

■ 財布

みぶんしょうめいしょ じどうしゃうんてんめんきょしょう ばすぽーと じぶん しょうめい

■ 身分証明書（自動車運転免許証、パスポートなど、自分を証明するもの）

つうしんきき すまーとふおん けいたいでんわ じゅうでんき

■ 通信機器（スマートフォン、携帯電話 など）と 充電器

もりしたすたじお うけつけ ひと じぶん ぶじ つた

6. 森下スタジオの 受付の 人に、自分が 無事であることを 伝えて ください。

たす ひつよう うけつけ ひと し

もしも 助けが 必要 であれば、受付の 人に 知らせて ください。

もりしたすたじお うけつけ ひと し じ したが

7. 森下スタジオの 受付の 人の 指示に 従って ください。

きょうりよく  
ご協力 ありがとう ございます。

に ゆーす しりたい  
ニュースを 知りたい とき:  
にほんご か にゆーす

NHK の やさしい 日本語で 書いた ニュース  
<https://www3.nhk.or.jp/news/easy/>



# THE SAISON FOUNDATION

MORISHITA STUDIO

**To our grantees and fellows using the studio facilities and guestrooms at  
Morishita Studio**

**IN THE EVENT OF AN EARTHQUAKE, please keep calm and follow these instructions:**

1. Open the doors of your studio or guestroom and secure an exit route.
2. Duck under a table or desk and protect your body, especially your head.  
\*NOTE: If the tremors are so big that you are unable to stand, reverse the procedures of 1 and 2 and take measures to protect your head first.
3. DO NOT RUSH OUT from where you are soon after the earthquake unless there are evident signs that indicate it is unsafe to stay there (eg., fire, smoke, large cracks in the walls, etc.).
4. If you see the ground level being flooded with water, move to an upper level of the building calmly and immediately.
5. Please be sure to bring the following items with you if you have them when you evacuate your studio or guestroom once after the tremors have subsided:
  - Shoes
  - Wallet
  - Identification documents (passport, etc.)
  - Communication tools (cell/smart phones) and battery chargers
6. Please contact our Front Office personnel and let us know that you are safe. Additionally, please do not hesitate to contact us if you need any assistance.
7. Please follow the instructions given by the Front Office personnel.

Thank you for your cooperation.

For news in English:

<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/>

Safety Tips by the Japan Tourism Agency:

<https://www.jnto.go.jp/safety-tips/eng/index.html>